

患者の皆様へ

2026年1月15日
脳神経内科

現在、脳神経内科では、「免疫介在性神経疾患における病態ならびに活動性を反映するバイオマーカーの探索」に関する研究を行っています。未知の自己抗体の検出や各種バイオマーカーの探索のために、免疫介在性神経疾患の患者さんで「神経免疫疾患レジストリ」の研究に参加された方の、診療情報や検体を利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「免疫介在性神経疾患における病態ならびに活動性を反映するバイオマーカーの探索」

2. 研究の意義・目的

慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)などの免疫介在性神経疾患の患者試料における病態ならびに疾患活動性を規定するバイオマーカーの探索を目的とする。また関連病院など複数の施設から収集した生体試料について、NF155、CNTN1、複数の糖脂質などの抗原に対する既知自己抗体のスクリーニングを行い、陰性例に対して新規自己抗体の検索を行う。さらに CIDP や抗 MAG 抗体陽性ニューロパチー患者などの血液検体における補体活性を確認する。

加えて、FcRn 阻害薬治療を受けた CIDP および自己免疫性ノドパチー患者について、治療反応性に関連する免疫学的・臨床的因子を探索し、効果予測マーカーの同定を目指す。また、IVIg 治療中の CIDP 患者において、血清・髄液のバイオマーカーを測定して疾患活動性や治療反応性の客観的指標を探索・同定する。

3. 研究の方法

「神経免疫疾患レジストリ」の研究に参加された患者さんを対象とします。診療を通じて得られ、診療録に記載のある病歴、身体・神経学的所見、画像検査データ、臨床神経生理検査、血液検査、脳脊髄液検査データや提供いただいた検体の全てが対象となります。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に

管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。

5. 外部への試料・情報の提供

この研究で取り扱うデータには、研究特有の ID を設定した連結可能匿名化を行います。匿名化されたデータは、電子的配信によって下記の共同研究機関で共有され、データの解析が実施されます。

試験で得られたデータ類を取扱う際は、個人情報の保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書には個人を特定できる情報を含みません。また、研究の結果を公表する際にも、対象になる患者さんを特定できる情報が含まれることはありません。研究目的以外にデータを使用することはありません。

6. 研究組織

この研究は、複数の研究機関で協力して行う、多施設共同研究です。共同研究機関として、以下の施設が参加します。

名古屋大学病院、九州大学病院、近畿大学病院、一般社団法人 日本神経免疫学会 レジストリ検討委員会 CIDP/NMO 分科会、一般社団法人 kizuna

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院
本件のお問合せ先 : 脳神経内科 澁谷 和幹
043 (222) 7171 内線 5414

研究代表機関 : 名古屋大学大学院
研究代表者 : 医学系研究科神経内科学 勝野 雅央